

1 益城町田原で生まれる



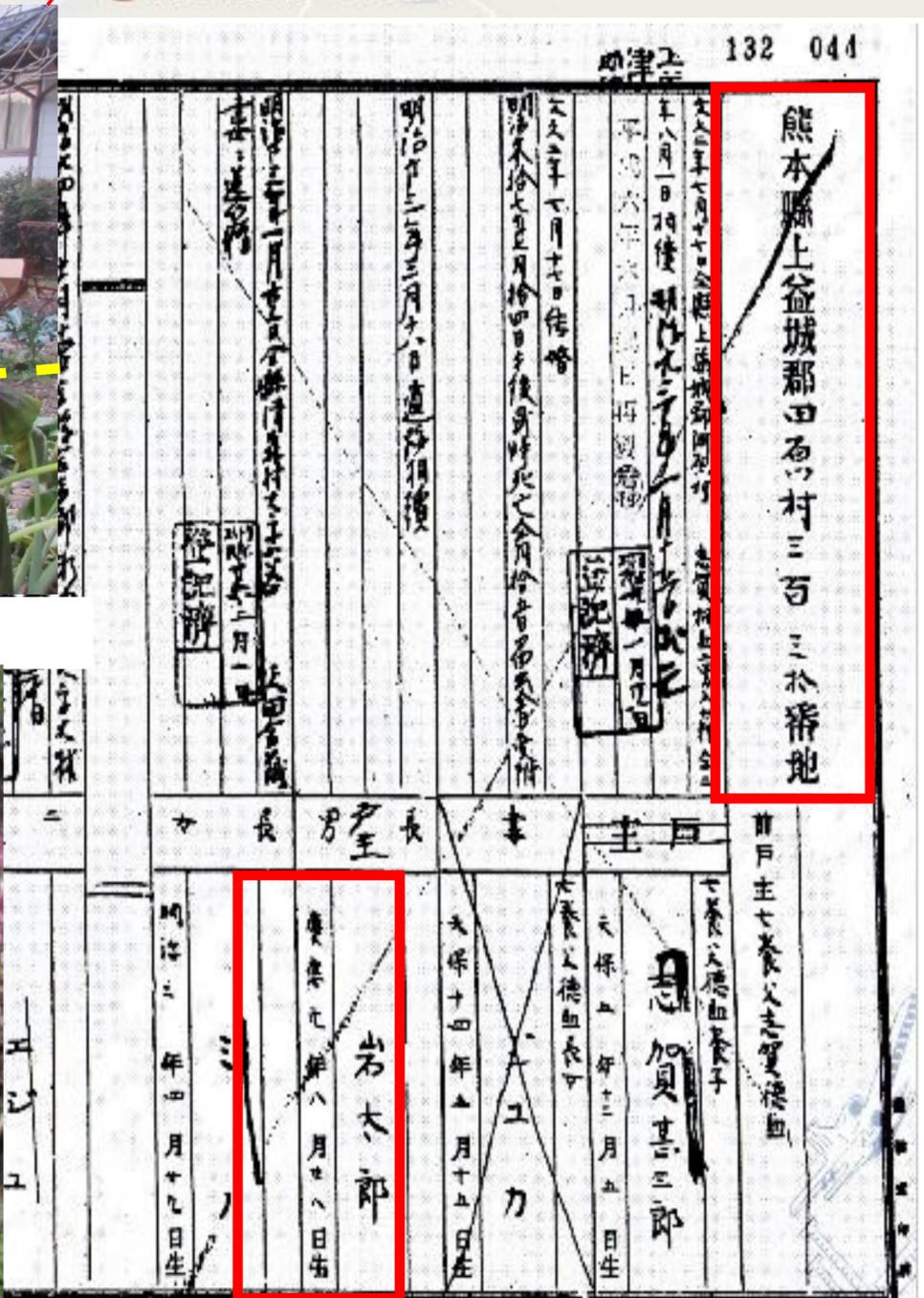
哲太郎が釣りや水遊びをした木山川



手前の畑が生家跡（右の建物奥が中村傳兵衛宅跡）



生家跡の石垣



戸籍の写し（澤田寛旨氏提供）

哲太郎は、慶応元（1865）年8月28日上益城郡田原村330番地（現益城町田原）で鍛冶屋の志賀甚三郎の長男として生まれました。幼名は岩太郎。幼少期は、近くの木山川で釣りや水遊びに興じました。哲太郎は、中村家の八代当主傳兵衛（でんべえ）に気に入られ、家族同然に可愛がられました。傳兵衛は、縁側で読み・書きの手ほどきをしながら、哲太郎の物覚えの良さに感心し、木山の塾を勧めました。木山の塾では四書五経を習い、塾が休みの時は、家の手伝いを済ませ、中村家に行って書籍箱から前回習った本を取り出して読みました。母ジュカは哲太郎の向学心を見てとり、一鍛冶屋の倅（せがれ）として終わらせるべきではないと思うようになり、経済的に苦しくはありましたが、塾に通わせ続けました。